

熊本県との意見交換会を開催

7月26日、熊本県庁会議室において、令和3年度の熊本県と九州森林管理局及び県内森林管理署との意見交換会を関係者23名が参加のもと開催しました。本年度の意見交換会には九州森林管理局から、小島孝文局長をはじめ川戸英騎次長、山根則彦計画保全部長、大道一浩森林整備部長等の局幹部の出席を頂きました。

意見交換会は当署の内村圭一総括地域林政調整官の司会進行により、冒頭、小島局長から「現在の情勢から民国連携はますます重要となっており、本日の会議を通じてお互いが理解を深め、熊本県の森林・林業・木材産業の発展に資するように願います」との挨拶に続き、熊本県の大岩禎一森林局長の挨拶がありました。

続いて熊本県、局及び県内署の令和3年度の重点取組事項等についての説明と質疑応答が行われ、意見交換では民国連携の推進をテーマにして、森林環境譲与税と森林経営管理制度、特定流域総合治山対策、スマート林業や技術開発、シカ被害対策、災害に強い森林づくり、早生樹等の熊本県における林政課題について活発な議論を行いました。

熊本県においては、5年前の熊本地震や昨年令和2年7月豪雨等の大きな災害が発生していますが、改めて民国が連携・協力することを確認して大変有意義な意見交換会となりました。



(挨拶する小島局長)



(意見交換会の様子)